

(専門試験 林業)

NO. 1 森林計画制度に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 全国森林計画は、森林・林業基本計画に即して、農林水産大臣が策定する。
2. 森林経営計画は、森林整備保全事業計画に即して、市町村長が策定する。
3. 国有林の地域別の森林計画は、森林経営計画に即して、林野庁長官が策定する。
4. 地域森林計画は、44の森林計画区ごとに民有林を対象として策定される。
5. 森林整備保全事業計画は、森林所有者が作成し、市町村長の認定を受けるものである。

正答番号 1

(専門試験 林業)

NO. 2 林木の成長に関する記述A～Dのうちには妥当なものが二つある。それらを選んでいるのはどれか。

- A. 光合成によって生産された有機物の総量から、呼吸による消費量を差し引いたものを純生産量という。
- B. 林木の総生産量は、暖帯・温帯地域の樹種の方が、熱帯・亜熱帯地域の樹種よりも多い。
- C. 林木の純生産量は、落葉広葉樹林が最も大きく、常緑広葉樹林が最も小さい。
- D. 連年成長量は、老齢期の方が、若齢期よりも小さい。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. A, D
- 4. B, C
- 5. C, D

正答番号 3